

旧	新
<p style="text-align: center;">地域再生計画</p> <p><b>1 地域再生計画の名称</b> 「元気とやま」ものづくり産業活性化計画</p> <p><b>2 地域再生計画の作成主体の名称</b> 富山県</p> <p><b>3 地域再生計画の区域</b> 富山県の全域</p> <p><b>4 地域再生計画の目標</b> 富山県は、中心部から半径約50 k mのコンパクトな地形でありながら、北アルプス立山連峰など標高3,000メートル級の間々や黒部峡谷をはじめとする世界に誇る山岳景観、蜃気楼の見られる「不思議の海」富山湾など、美しく豊かな自然環境に恵まれ、変化に富んだ美しい四季を味わうことができる。 そこに暮らす人々には、氾濫をくり返す急流河川との闘いや、冬の厳しい積雪下での忍耐といった自然とのかかわりの歴史のなかで、勤勉で粘り強く、進取の気性に富んだ県民性が培われてきている。 また、天然の巨大なダムともいえる山々からは、一年を通じて豊かできれいな水が生まれ、水力発電、各種用水など多目的に利用されており、暮らしや産業を支える重要な資源となっている。 本県の工業は、明治32年の水力発電の開発が原動力となって、大正時代には豊富で低廉な電力供給の下に、化学、電炉、機械、紡績など大手企業の立地が進み、第2次世界大戦頃には大規模な工業集積が形成された。また、家庭配置薬業（越中売薬）に端を発した医薬品製造業が容器、包装、機械、印刷等の関連産業の発展を促し、高岡銅器の高度な鑄造技術や金型技術を基礎に、一般機械、金属製品、非鉄金属、プラスチック等の産業が発展するなど、高い技術を誇る裾野の広い産業集積を形成している。近年では、先端技術産業や情報産業など新たな産業の集積が進むとともに、「富山のくすり」の伝統を活かしたバイオテクノロジーや深層水等の地域の産業資源を有効に活用した産業への取組みも積極的に展開されている。 こうした中で、富山県の産業別就業人口構成比は、全国と比較して第2次産業のウェイトが高いほか、平成19年の国民経済計算及び県民経済計算の産業別総生産構成比によると、全国の製造業の割合は21.2%であるが、本県の製造業の割合は29.7%と、全国を8.5ポイント上回っているなど、本県は「ものづくり産業」県であることがわかる。 バブル崩壊後の国内経済の低迷や全国的なデフレの進行、国際競争の激化等を背景に、産業を取り巻く環境は大きく変化し、本県においても地域経済に停滞が見られた。</p>	<p style="text-align: center;">地域再生計画</p> <p><b>1 地域再生計画の名称</b> 「元気とやま」ものづくり産業活性化計画</p> <p><b>2 地域再生計画の作成主体の名称</b> 富山県</p> <p><b>3 地域再生計画の区域</b> 富山県の全域</p> <p><b>4 地域再生計画の目標</b> 富山県は、中心部から半径約50 k mのコンパクトな地形でありながら、北アルプス立山連峰など標高3,000メートル級の間々や黒部峡谷をはじめとする世界に誇る山岳景観、蜃気楼の見られる「不思議の海」富山湾など、美しく豊かな自然環境に恵まれ、変化に富んだ美しい四季を味わうことができる。 そこに暮らす人々には、氾濫をくり返す急流河川との闘いや、冬の厳しい積雪下での忍耐といった自然とのかかわりの歴史のなかで、勤勉で粘り強く、進取の気性に富んだ県民性が培われてきている。 また、天然の巨大なダムともいえる山々からは、一年を通じて豊かできれいな水が生まれ、水力発電、各種用水など多目的に利用されており、暮らしや産業を支える重要な資源となっている。 本県の工業は、明治32年の水力発電の開発が原動力となって、大正時代には豊富で低廉な電力供給の下に、化学、電炉、機械、紡績など大手企業の立地が進み、第2次世界大戦頃には大規模な工業集積が形成された。また、家庭配置薬業（越中売薬）に端を発した医薬品製造業が容器、包装、機械、印刷等の関連産業の発展を促し、高岡銅器の高度な鑄造技術や金型技術を基礎に、一般機械、金属製品、非鉄金属、プラスチック等の産業が発展するなど、高い技術を誇る裾野の広い産業集積を形成している。近年では、先端技術産業や情報産業など新たな産業の集積が進むとともに、「富山のくすり」の伝統を活かしたバイオテクノロジーや深層水等の地域の産業資源を有効に活用した産業への取組みも積極的に展開されている。 こうした中で、富山県の産業別就業人口構成比は、全国と比較して第2次産業のウェイトが高いほか、平成20年の国民経済計算及び県民経済計算の産業別総生産構成比によると、全国の製造業の割合は19.4%であるが、本県の製造業の割合は26.9%と、全国を7.5ポイント上回っているなど、本県は「ものづくり産業」県であることがわかる。 バブル崩壊後の国内経済の低迷や全国的なデフレの進行、国際競争の激化等を背景に、産業を取り巻く環境は大きく変化し、本県においても地域経済に停滞が見られた。さらに平成20年秋の世界同時不況の発生により国内経済は輸出や生産が大幅に減少するなど、景気が急速に悪化し、本県</p>

旧	新
<p>県民経済計算によると、本県における県内総生産は、平成8年の4兆9,626億円をピークに低下し、平成19年には4兆6,543億円となり、<u>11年間で約3千83億円、率にして6%強低下している。</u>また、製造業の県内生産は、平成8年の1兆5,712億円をピークに、平成19年には1兆3,833億円まで低下し</p> <p><u>ている。</u>また、我が国の世界における経済的地位の低下や少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少など、県内製造業を取り巻く環境は厳しさが増しており、予断を許さない状況となっている。</p> <p>このため、本計画の目標は、「ものづくり産業」の一層の活性化とし、本県の裾野の広い製造業の県内生産について、ピークであった平成8年度程度までに引き上げるにより、地域を活性化し、活力ある「元気とやま」の創造を図ることとする。</p> <p>(数値目標) 県民経済計算における県内総生産中の「製造業」について、計画期間中に1兆6,000億円までに引き上げる。</p> <p><b>5 目標を達成するために行う事業</b></p> <p><b>5-1 全体の概要 略</b></p> <p><b>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</b></p> <p><b>1 地域再生支援利子補給金の活用</b></p> <p>(1) 支援措置の番号及び名称</p> <p>①番号 A2004</p> <p>②名称 地域再生支援利子補給金</p> <p>(2) 地域再生計画の目標を達成するために行う事業の内容 略</p> <p>(3) 合致する地域再生支援利子補給金交付要綱別表に定める事業 略</p> <p>(4) 利子補給金の受給を予定する金融機関 『元気とやま』ものづくり産業活性化計画」地域再生協議会の構成員である日本政策投資銀行、北陸銀行、富山銀行、富山第一銀行、北國銀行及びみずほ銀行</p> <p>(5) 利子補給を受けて実施する上記(3)の事業による経済的社会的効果と雇用機会創出効果 経済的社会的効果として、製造業の県内総生産を計画期間中に<u>14億円</u>程度引き上げることが期待され、本計画の目標としている製造業の県内総生産1兆6,000億円への引上げに寄与する。</p>	<p><u>経済も大きな打撃を受けた。</u>県民経済計算によると、本県における県内総生産は、平成8年の4兆9,626億円をピークに低下し、平成19年には4兆6,543億円となり、<u>世界同時不況発生後の平成21年には4兆966億円まで大きく落ち込んでいる。</u><del>11年間で約3千83億円、率にして6%強低下している。</del>また、製造業の県内生産は、平成8年の1兆5,712億円をピークに、平成19年には1兆3,833億円まで低下し、<u>さらに平成21年には9,107億円まで大きく落ち込んでいる。</u><del>ている。</del>また、我が国の世界における経済的地位の低下や少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少など、県内製造業を取り巻く環境は厳しさが増しており、予断を許さない状況となっている。</p> <p>このため、本計画の目標は、「ものづくり産業」の一層の活性化とし、本県の裾野の広い製造業の県内生産について、ピークであった平成8年度程度までに引き上げるにより、地域を活性化し、活力ある「元気とやま」の創造を図ることとする。</p> <p>(数値目標) 県民経済計算における県内総生産中の「製造業」について、計画期間中に1兆6,000億円までに引き上げる。</p> <p><b>5 地域再生を図るために行う事業</b></p> <p><b>5-1 全体の概要 略</b></p> <p><b>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業</b></p> <p><b>1 地域再生支援利子補給金の活用</b></p> <p>(1) 支援措置の番号及び名称</p> <p>①番号 A2004</p> <p>②名称 地域再生支援利子補給金</p> <p>(2) 地域再生計画の目標を達成するために行う事業の内容 略</p> <p>(3) 合致する地域再生支援利子補給金交付要綱別表に定める事業 略</p> <p>(4) 利子補給金の受給を予定する金融機関 『元気とやま』ものづくり産業活性化計画」地域再生協議会の構成員である日本政策投資銀行、北陸銀行、富山銀行、富山第一銀行、北國銀行、<u>みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行及び商工組合中央金庫</u></p> <p>(5) 利子補給を受けて実施する上記(3)の事業による経済的社会的効果と雇用機会創出効果 経済的社会的効果として、製造業の県内総生産を計画期間中に<u>24億円</u>程度引き上げることが期待され、本計画の目標としている製造業の県内総生産1兆6,000億円への引上げに寄与する。</p>

旧	新
<p>また、雇用機会創出効果として、計画期間中に<u>144名</u>程度の雇用創出が期待され、現在厳しい状況にある県内製造業の雇用基盤の維持に寄与する。</p> <p>※本県製造業の1事業所あたり県内総生産 <u>2.4億円</u></p> <p>※本県製造業の1事業所あたりの従業者数 <u>24名</u></p> <p>※利子補給金活用見込み件数 計画期間中<u>6件</u></p> <p>5-3 その他の事業 略</p> <p>6 計画期間 認定の日から平成<u>30</u>年3月末まで</p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項 略</p> <p>8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項 特になし</p>	<p>また、雇用機会創出効果として、計画期間中に<u>345名</u>程度の雇用創出が期待され、現在厳しい状況にある県内製造業の雇用基盤の維持に寄与する。</p> <p>※本県製造業の1事業所あたり県内総生産 <u>1.6億円</u></p> <p>※本県製造業の1事業所あたりの従業者数 <u>23名</u></p> <p>※利子補給金活用見込み件数 計画期間中<u>15件</u></p> <p>5-3 その他の事業 略</p> <p>6 計画期間 認定の日から平成<u>32</u>年3月末まで</p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項 略</p> <p><u>(削除)</u></p>